

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2023
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.124, (2023. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01240001--002">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01240001--002</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 目次

- 1 「百和香」考—詩歌の表現と華籠との関係— 柿沼紅衣
- 19 安岡章太郎『流離譚』の書きかえと史料—〈史実〉をめぐって— 成田朱凜
- 35 家族の習俗から社会の法へ  
—ヘーゲル『法の哲学』における市民的ハビトゥスの構想— 香田芳樹
- 
- 83 彙報
- 2022 年度藝文学会シンポジウム 現地調査から見た世界
- 114 死と無常の旅—西洋中世文学におけるポピュラリティをめぐって 松田隆美
- 123 鑑定の相異 高橋智
- 145 日本語動詞活用の調査 屋名池誠
- 104 全体討論
- 166 文学と歴史の対話—話劇『曙光』を中心として 崔靖宜
- 181 “先覚性”与“実感”：论周作人对石川啄木诗歌的接受 段奥曼
- 197 文学の条件としての読者公衆—ジッドとブルーストの場合— 大寫健太郎
- 210 1840年1月22日まで（中編）—メトレの誕生（3） 岑村傑
- 223 シラー『哲学書簡』における「過ち」の詩学  
—『失われた名誉ゆえの犯罪者』との比較から— 厚見浩平
- 238 パブリック・ディスコースの通時的分析  
—米国企業の年次報告書における過程構成の変化— 北澤茉奈
- 248 1974年からのメッセージ：フィリップ・K・ディックの  
『流れよ我が涙、と警官は言った』におけるポスト・トゥルースと現実 岩本遼
- 260 ヴェニアリングの正体を誰が知る  
—『共通の友』におけるゴシップとミドルクラスの社会— 佐取愛香